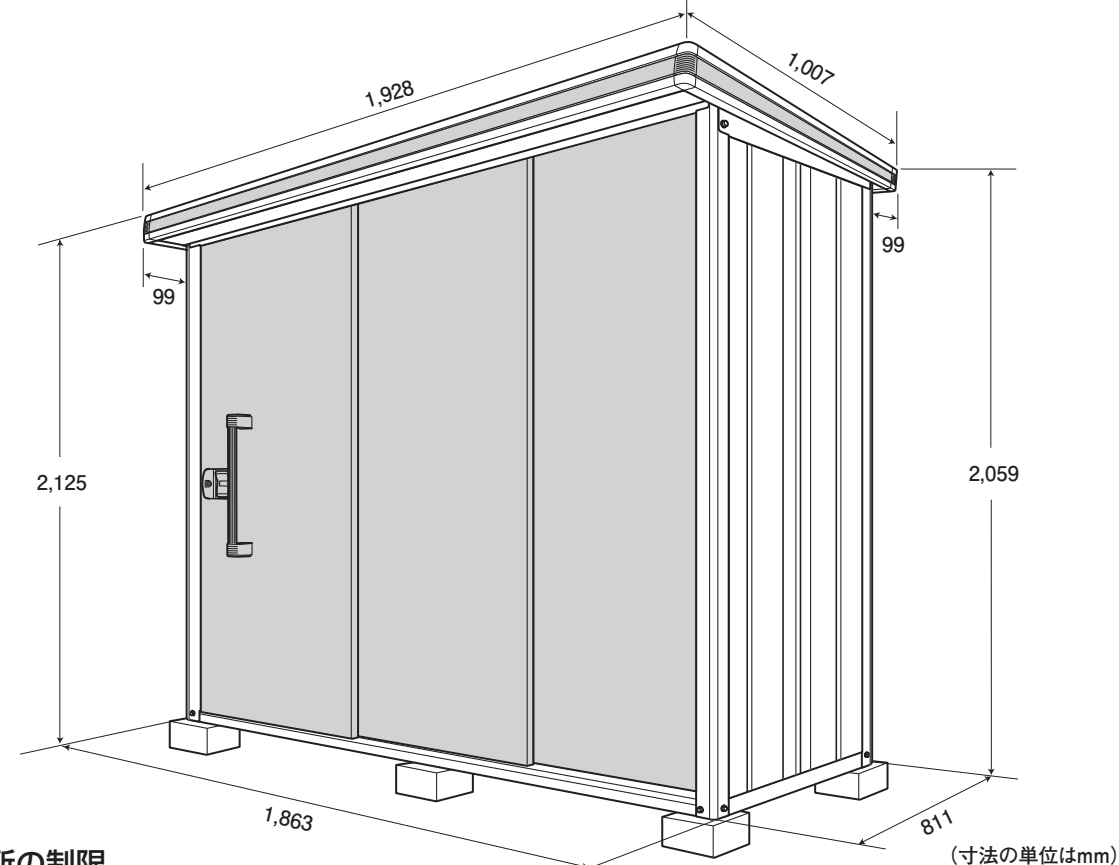


ヨド物置エルモ組立説明書LMD-1808型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日のは、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

種別	1808型
部品	
種	上枠前後 LM5-0131
	上枠前後 LM5-0204
	下枠前後 LM5-0254
	上枠左右 LM5-0301
	下枠左右 LM5-0351
柱	LM5-0416
扉	LM5-1104
床	LM5-0702
屋根	LM5-0902
壁	LM5-1004
袖壁	LM5-1021
扉	LM5-1054
棚板	LM5-1704
合計	14

●梱包内容表

●部品 LM5-0131	●柱 LM5-0416	●壁 LM5-1004	●扉 LM5-1704
部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量
ELD 間柱固定金具 2	ELD 柱前 AS-右 L 1	ELD 壁パネル L-A 4	ELD 扉前 L-C 1
ELD ムシクワカウー 115x15 5 (1)	ELD 柱前 AS-左 L 1	ELD 扉後 L-C 1	ELD 扉後 L-C 1
ELD 柱補強金具 (AS) 1	ELD 柱後 L 2	ELD 扉後支持 AS-C 1	ELD 扉後支持 AS-C 1
ELD ドレールキャップ 1	ELD 戸当り (M) L 1	ELD 壁パネル L-F 1	ELD 取手 1
T 型レンチ 4	ELD 間柱前 L 1		ELD 連動車 1
ELD アンカープレート (L) 4	ELD 間柱後 L 2		ELD 戸車上昇防止プレート AS 3
ELD 屋根断熱隔し A 2			
ELD 屋根断熱隔し B 1			
EL 鍵乳フサギ 1			
ボルト M 6 × 15 (白) 117 (5)			
組立説明書 1			
取扱説明書 1			
保証書 5 年			
※() 内は予備			
●上枠前後 LM5-0204	●床 LM5-0702	●袖壁 LM5-1054	●棚板 LM5-1901
部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量
ELD 上枠前 AS-A2.5 1	ELD 床板 A1.0 5	ELD 袖壁 L-C 1	ELC 棚板 A1.0N 2
ELD 上枠後 A2.5 1			ELC 棚受 N 右 2
			ELC 棚受 N 左 2
●下枠前後梱包 LM5-0254	●屋根 LM5-0902	●鼻隠し LM5-1104	
部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量	
ELD 下枠前 AS-A2.5 1	ELD 屋根 (35) A1.0 1	ELD 鼻隠し前 A2.5 1	
ELD 下枠後 A2.5 1	ELD 屋根 (70) A1.0 2	ELD 鼻隠し後 A2.5 1	
ELD 床押え A2.5 2			
●上枠左右 LM5-0301			
部材名 数量			
ELD 上枠左 A1.0 1			
ELD 上枠右 A1.0 1			
●下枠左右梱包 LM5-0351			
部材名 数量			
ELD 下枠前 A1.0 (左) 1			
ELD 下枠前 A1.0 (右) 1			

○部材名称にはA1.0、A2.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て銅製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 6ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧

ボルト(白) M6×15	ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15
-----------------	-------------------------------

●アンカー工事について

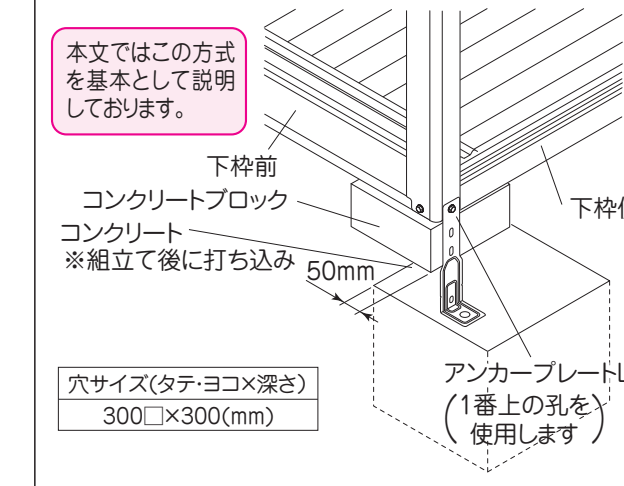
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。



内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

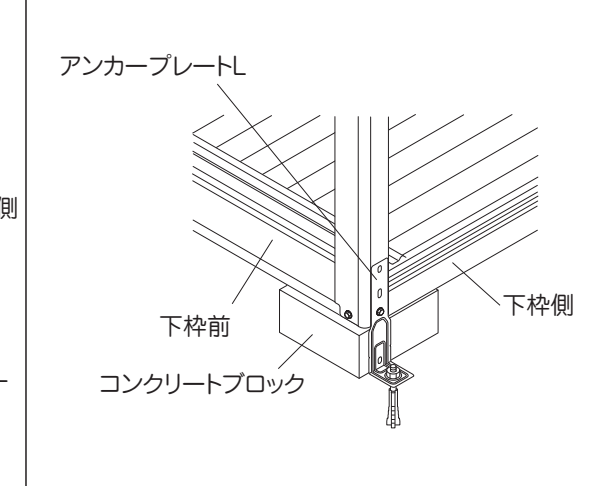
《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



《コンクリート床の上に設置する場合》

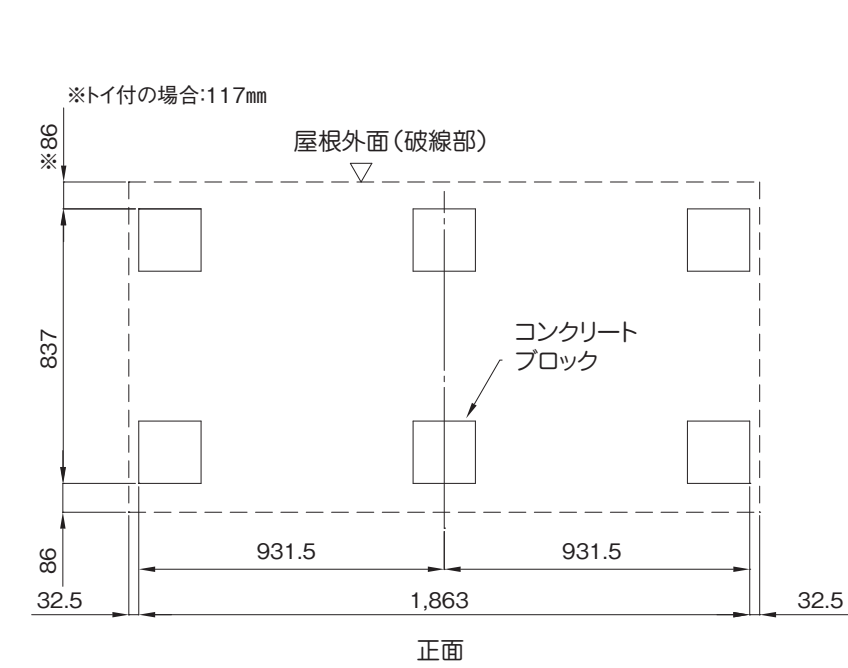
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12・70以上)で固定してください。



△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の気情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

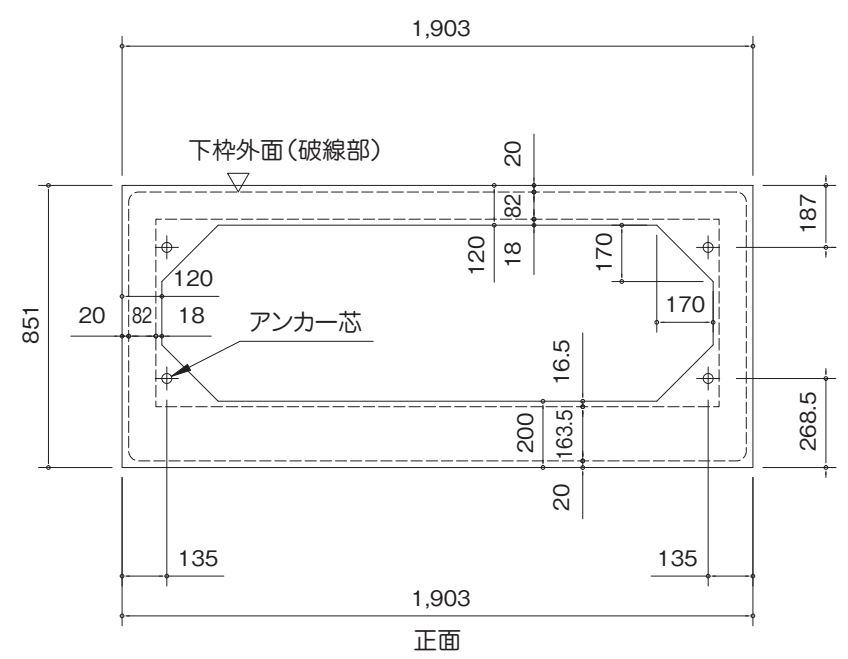


基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。



内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にお読みください。

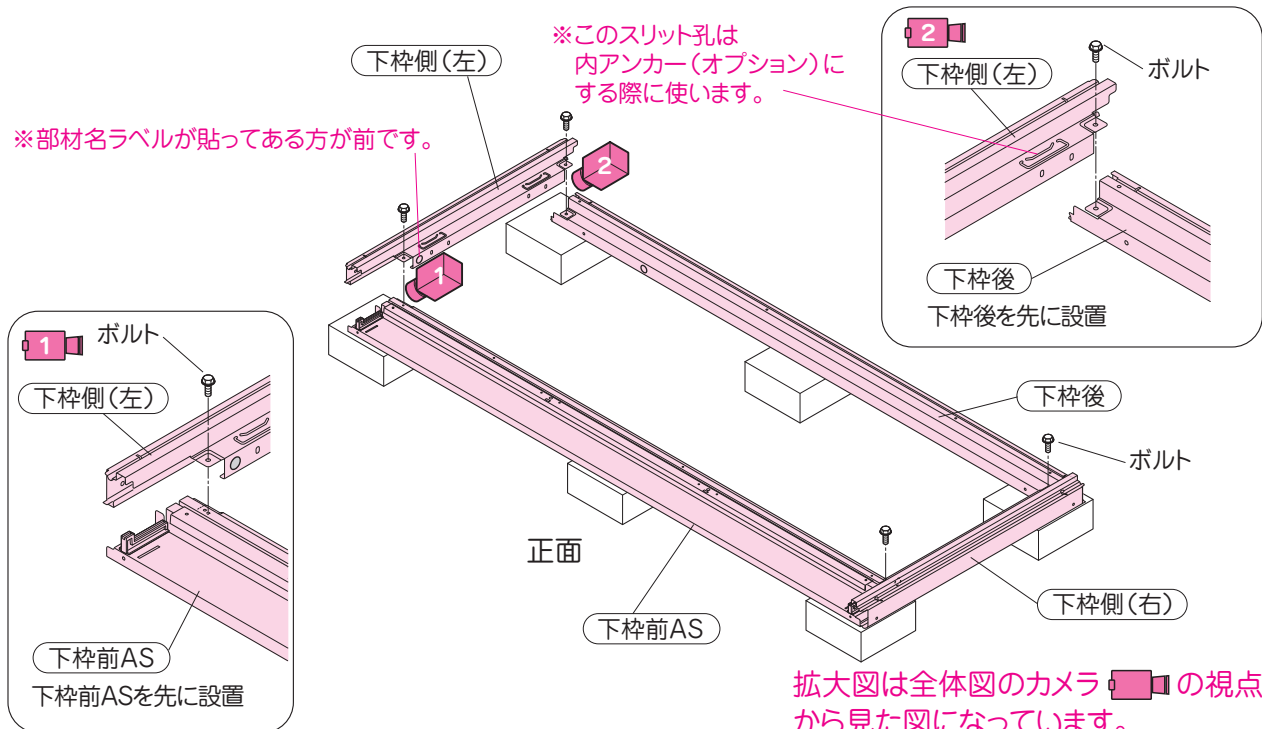
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

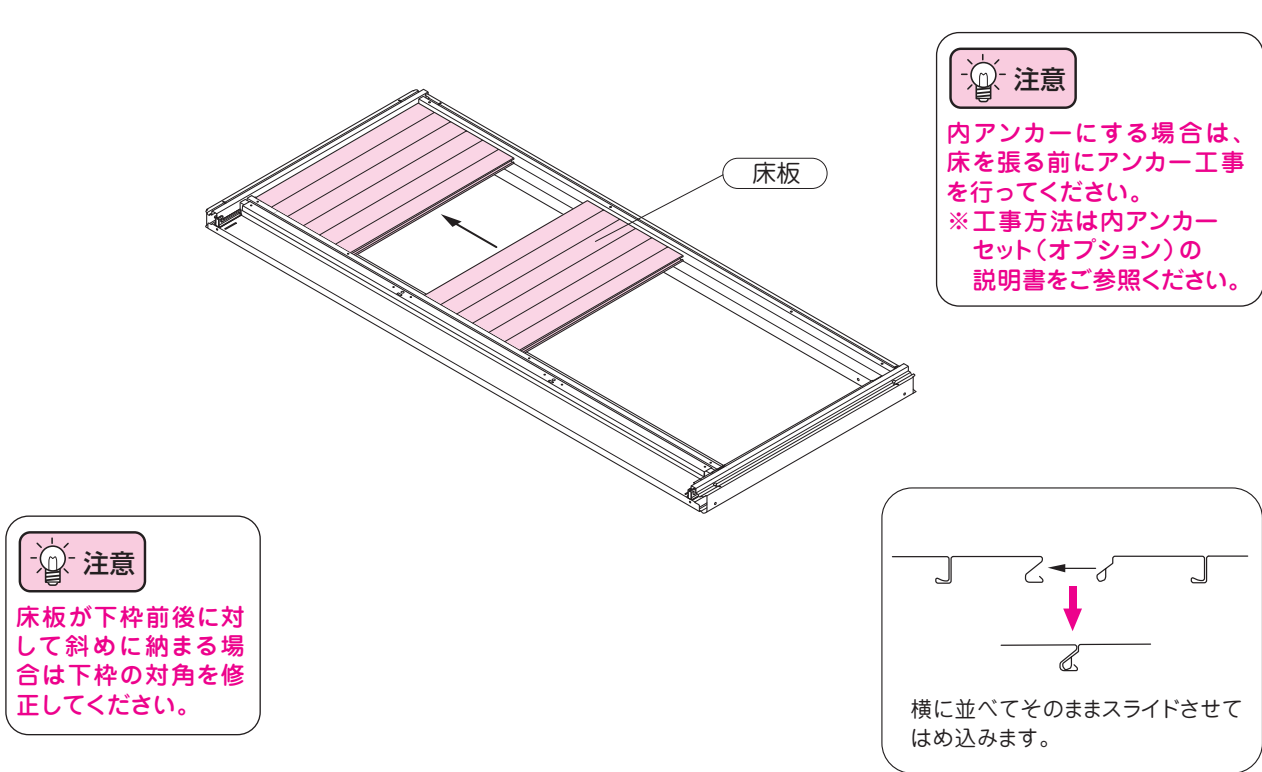
2 下枠の組立

- ①(下枠前AS)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。



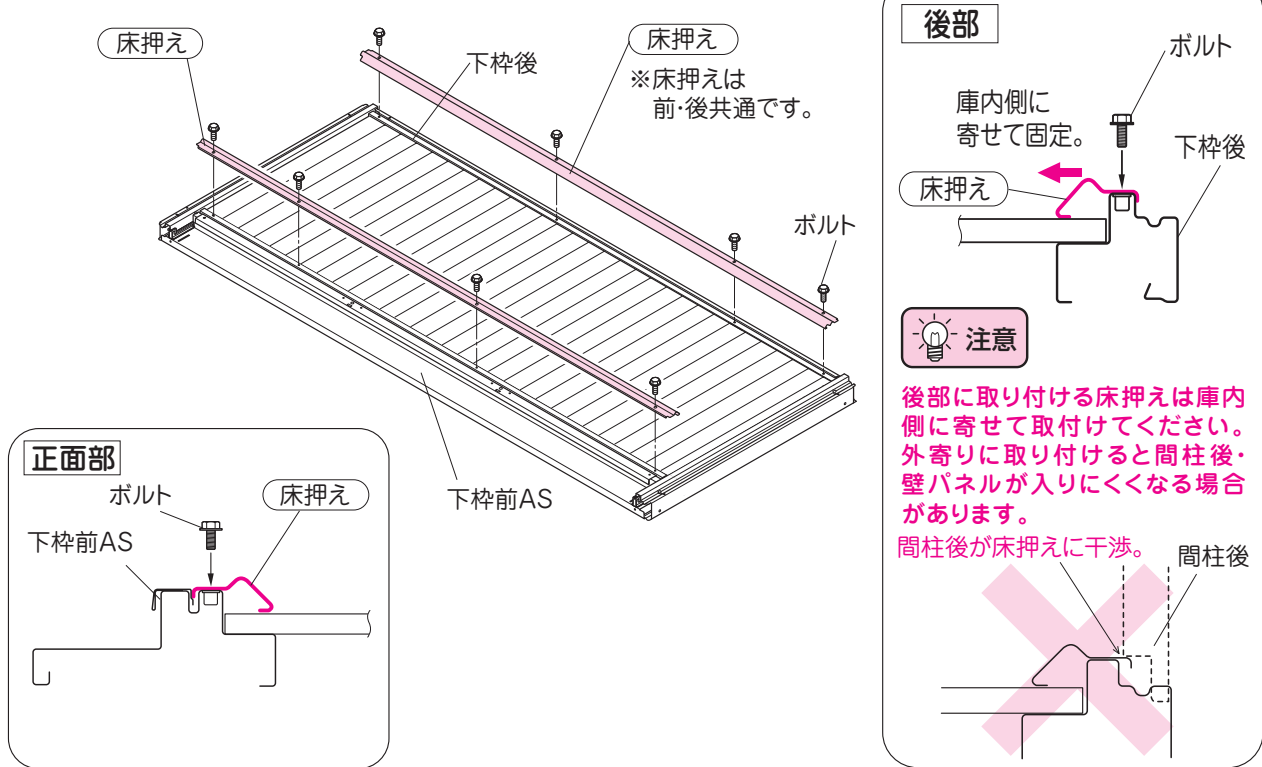
3 床の設置

- ①(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。



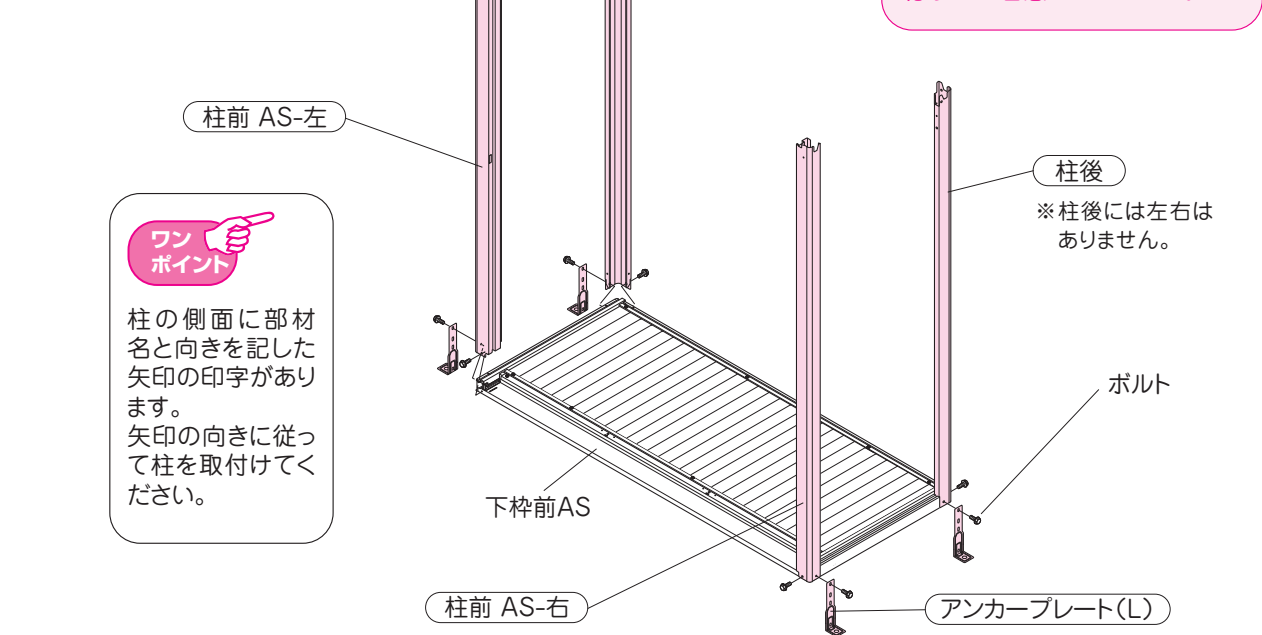
4 床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前AS・下枠後に取付けます。



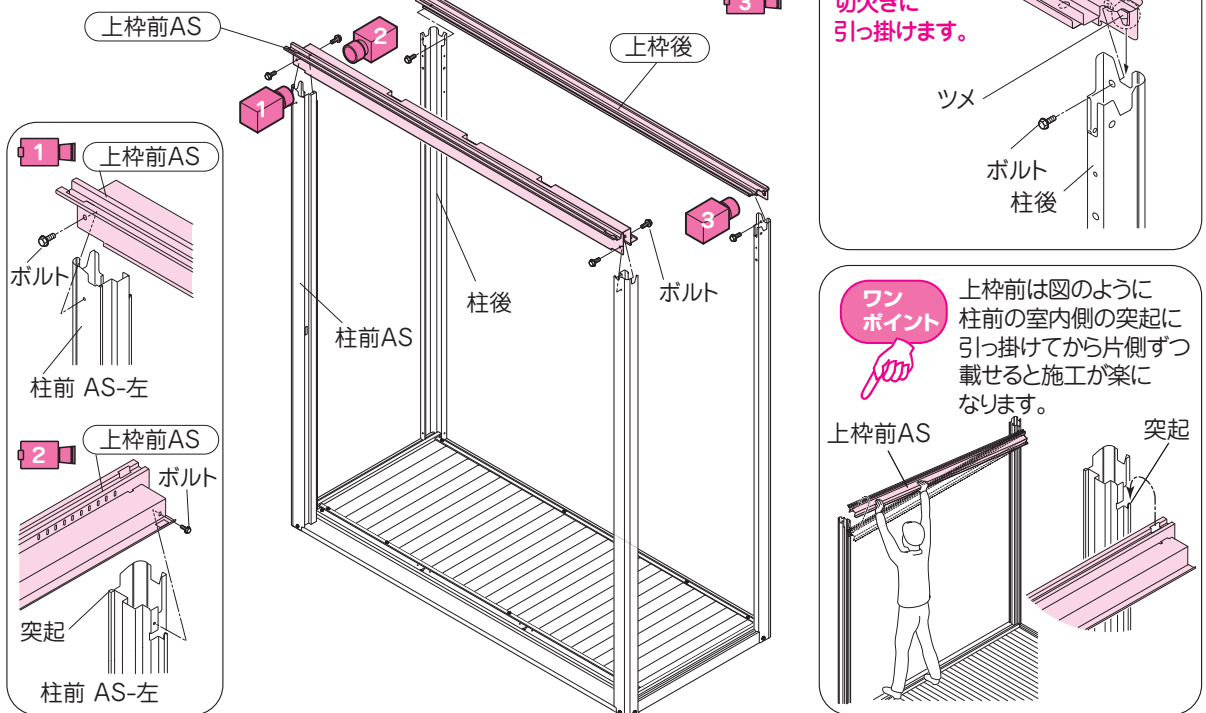
5 柱の取付け

- ①(柱前AS)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。



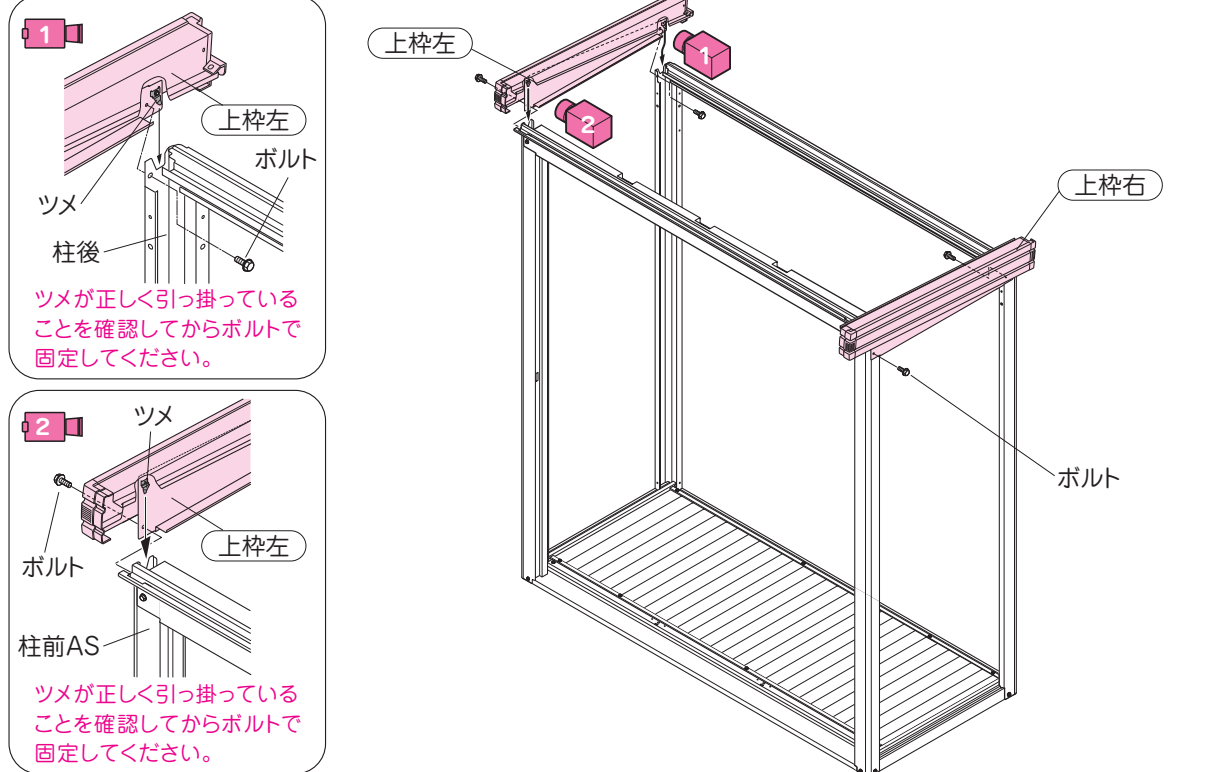
6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前AS)を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



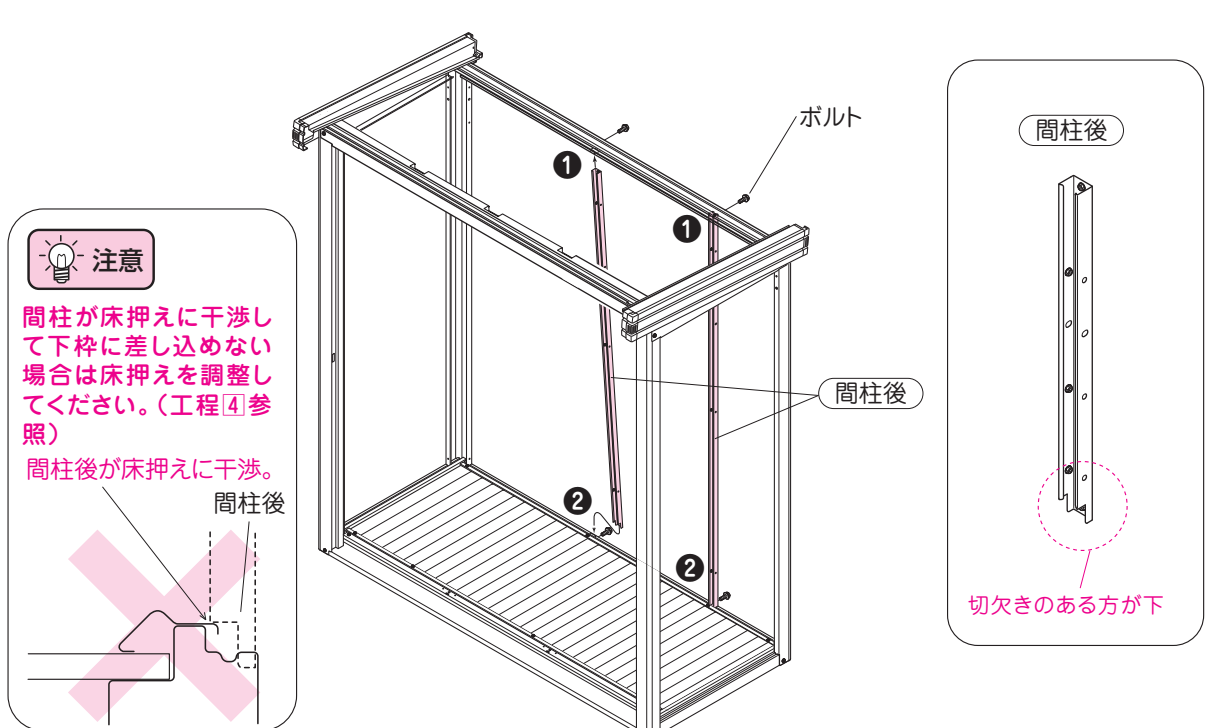
7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取り付けます。



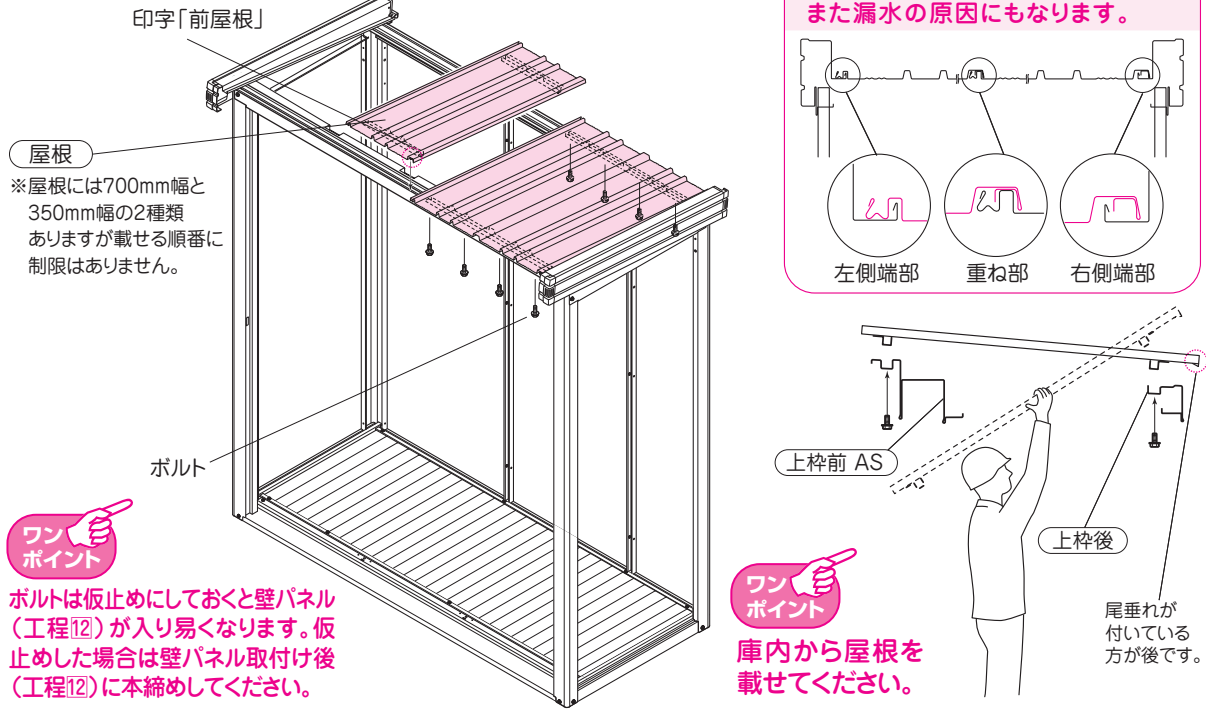
8 間柱後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。



9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



10 間柱前の取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	LM5-0131

使用ボルト数 ボルト (スプリングワッシャー付) 4本

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書10・11・13・15・16・18・19を読んでください。

- ① 間柱固定金具 を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**
- ② 間柱前 の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。

上枠前AS 間柱固定金具 ボルト (スプリングワッシャー付) 下枠前AS 間柱前 ※上下の向きはありません。 間柱固定金具

●右開口の場合

ボルト (スプリングワッシャー付) ※4本共ボルト (スプリングワッシャー付) で固定してください。

左側の孔に固定します。

11 戸当たりの取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	3本

① 戸当たり (M) を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。-工程16参照

間柱前 戸当たり (M) 開口部側

●右開口の場合

間柱前 戸当たり (M) 開口部側

ボルト

12 壁パネル・袖壁の取付け

使用梱包	LM5-1004
	LM5-1021
	LM5-1054
使用ボルト数	35本

① 室内から (壁パネル)・(袖壁パネル) をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
② 柱・間柱にボルト止めします。**1** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程13参照)

注意 ボルト固定しないて倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

ワンポイント

ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

壁パネルの取付位置

壁パネルの種類

670mm 319.5mm 553mm

壁パネルA 壁パネルF 袖壁C

※壁パネルA、袖壁共に上下の区別はありません。

注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の継ぎ目取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

13 柱補強金具の取付け

使用梱包	LM5-0131
使用ボルト数	5本

① 柱補強金具AS を柱前AS-左 (右側開口の場合は柱前AS-右) にボルト止めします。**1**

② 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。

柱補強金具 AS

壁固定用ボルト孔をボルトで塞ぐ。(3か所)

●右開口の場合

※柱前AS-右に取り付けます。

14 鼻隠しの取付け

使用梱包	LM5-1104
使用ボルト数	11本

① (鼻隠し前)・(鼻隠し後) を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
② (鼻隠し後) と屋根をボルト止めします。**1**

鼻隠し前 鼻隠し後

鼻隠し後と屋根の固定

ボルト (3か所固定)

壁パネルの中央付近の山が固定位置です。

トイ (オプション) を取り付ける場合は「オプションセット」の組立説明書を先にお読みください。

15 扉吊元変更 (右開口に変更する場合のみ)

注意 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

① 扉後から (戸車プレート (右)) を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
② 扉後の (扉後隙間隠し) 扉支持金具 を取り外して扉後の反対側に取付けます。
③ 扉前の最初に付いていた (戸車プレート (左)) を取り外して扉後に取付けます。

扉後隙間隠し 扉前 戸車プレート (右) 戸車プレート (左) 扉支持金具

※戸車プレートは (右) (左) を間違えて取付けると孔が合わないようになっています。

16 扉の吊り込み

注意 扉を吊り込む際は下枠前ASの上に砂埃が無いことを確認してください。

① 扉支持材AS を (扉前) に取付けます。

扉前 扉支持材AS

●右開口の場合

扉前 扉支持材AS

② 扉後・扉前 の順番で吊り込みます。

扉後 扉前

●右開口の場合

扉後 扉前

扉の吊り込み手順

① 扉後の戸車プレート ② アルミレールに載せずに下に落とす。 ③ 下部を奥に押し当てる。 ④ 扉後を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。 ⑤ 扉前も同様に吊り込む。

③ 戸当たり (M) と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で戸当たり (M) を固定してください。

左開口 右開口

扉後が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト (3か所) を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

扉前が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト (3か所) を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

ワンポイント

扉フランチと戸当たり (M) が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり (M) を少し屋外側にずらして固定してください。

17 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	0本

① (戸車上昇防止プレートAS) を上枠前ASに取付けます。(3か所) **1**

戸車上昇防止プレートAS

上枠前 (庫内側)

戸車上昇防止プレートAS

※はずす時はツマミを持って手前に引きます。

注意 戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを外してください。

18 取手の取付け

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	0本

① (取手) を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
② 扉裏の (取手取付け材) を回して取手を固定します。

注意 取手を取付ける向きに注意してください。※逆向きには取付かないようになっています。

左開口の場合

右開口の場合

取手

取手取付け材 (扉裏側)

② 取手の固定

扉裏側

取手取付け材

矢印が図の位置に来るまで回転させてください。(時計まわりに約20°回転)

19 連動車の取付け

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	4本

① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
② (連動車) のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**
③ (連動車) をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。

連動車

ボルト

※下側のボルトは先に仮止めする。

扉後

扉前

ボルト

仮止めたボルト

ワンポイント

ローラー部分を押し下げると取付けしやすくなります。

注意 連動車には絶対に注油しないでください。運動しなくなります。

20 扉の建付け調整

① 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト (調整ボルト) をゆるめて調整します。

戸車プレート

調整ボルト

扉

ワンポイント

ボルトをゆるめて庫内から扉を開けて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

21 棚板の取付け

使用梱包	LM5-1901
使用ボルト数	0本

① (棚受) を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
② (棚板) を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A1.0が2枚付いています。)

間柱

棚受-N左 棚受-N右

下のツメを差し込み角孔の下端まで棚受を押し下げます。

棚板取付け例

A1.0 A1.0

正面

棚板

棚板の奥側をのせる

棚板の手前を差し込む

注意 壁パネルには棚受は取付けできません。

22 その他部品の取付け

使用梱包	LM5-0131
使用ボルト数	0本

① 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
② (屋根隙間隠しA) を上枠後の屋根の重ね部に (屋根隙間隠しB) を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**
③ (下レールキャップ) を下枠前に取付けます。**2**
④ (鍵孔フサギ) を袖壁側の柱前に取付けます。**3**

屋根隙間隠しA 屋根隙間隠しB 上枠右 屋根隙間隠しA 屋根隙間隠しB 重ね部 三角形状 直角形状 屋根隙間隠しA 屋根隙間隠しB

扉前裏面の「注意・警告ラベル」に機種名を記入してください。

下レールキャップ

下枠前

下レールキャップ

鍵孔フサギ

扉が来ない方の柱前

鍵孔フサギ

◆錠操作方法について

●錠旋する方法

施錠: 鍵を差し込んで反時計回りに180°回します。
解錠: 鍵を差し込んで時計回りに180°回します。
※右側開口でも動作は同じです。

△注意

施錠した状態でボタンを強く押し込まないでください。錠の破損に繋がります。

●仮ロックする方法

仮ロック: ボタンの上側を押し込みます。
解錠: ボタンの下側を押し込みます。

●右開口の場合

解錠: ボタンの上側を押し込みます。
仮ロック: ボタンの下側を押し込みます。

●庫内からの解錠方法

施錠時、仮ロック時どちらの場合でも庫内から解錠できます。(庫内からの施錠、仮ロックはできません。)

庫内側のレバーを押し込みます。
※施錠した状態で内部から解錠した場合、次に施錠する際には鍵を一旦時計回りに180°戻す必要があります。

△注意

使用しない時は中に人がはいらないよう必ず施錠してください。
施錠、仮ロックする場合は庫内に人がいないことを十分確認してください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

チェック欄

① 扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。
② 鍵が正常に動作するかご確認ください。
③ 戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。
④ 棚板の配置確認をしてください。
⑤ 機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)
⑥ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程16・17・19)
・扉がスムーズに運動しない。	1. 本体の建ちを確認してください。 2. 連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3. 連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程18)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり (M) を調整してください。(工程16)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡ください。

(1808) 3F3F 淀川製鋼 (2020年8月制作)